

令和5年度 子どもゆめ基金助成活動
2340023 『石狩花川北六条除雪奉仕活動』
実施要綱

- 1 主催 〒062-0931 札幌市豊平区平岸1条7丁目2番25-301号 日本SNS推進機構 内
石狩中央ソーシャルネットワーク研究会 会長 上田正英 090-****-8***
事務局 小川幸彰 011-***-7***
(自宅) 011-**0-****
- 2 活動日時 令和6年1月14日(日)午後12:30～15:45 集合場所:バススタート:13:00
令和6年2月25日(日)午後12:30～15:45 集合場所:バススタート:13:00
- 3 集合場所 石狩中央リトルシニア球団 屋内練習場前 オリエンテーション開始 午後12:30
〒061-3218 石狩市花畔207-13
- 4 参加者 定員30名/日 公募期間:R05.12.15(金)～R05.12.27(水) 平日 午前10時～午後4時
- 5 参加料 無料 公募対象者:小6年～高校2年
- 6 活動地域 ・石狩市花川北 白樺会館周辺(自治会要望がある場合は、会館徒歩圏内の高齢者住宅)
・石狩市 親船東 / 石狩市 八幡地区 ・札幌市 北区 ビレッジハウス新川
- 7 活動目的 【活動の趣旨】 子どもの総生活時間うち学校時間は、増加傾向、学校外時間は、減少傾向にあるとの文科省の発表があります。この傾向は、子どもと地域との希薄を伴い顕在化してきました。この活動は、地域の社会教育の場としての機能をもって、高校生が、生活圏の多世代住民とともに地域の解決課題に取り組み、学校では、体験できない『面識のない多世代とのコミュニケーション力』『地域と協働する力』を当該活動を通じて試行体験し、『思いやり』や『地域愛』ある豊かな人間性を育むことを活動の目的とします。

A【良質な異世代とのコミュニケーションの試行】

参加者が円滑なコミュニケーションをとるためには、相手に敬意ある『挨拶・表情・態度』が重要であることを、町内会役員・指導員との協働活動を通じ、再認識させたい。また、コロナ禍の場合、本来の声による挨拶と異なるマスク着用挨拶となり、お辞儀や目の表情などにも配慮したコミュニケーションも試行させる。

B【地域人・社会人としての役割への気づき】

参加者を面識ない異世代の住民や指導者とともに小グループに分ける。そして、各参加者の『他者と協働する力』を、総合的に試行させる。協働活動終了時、その達成感をもって、各参加者が『自分が地域から必要とされていること』『自分は、責任を担う地域住民の一員であること』への『気づき』を促す。

C【『地域住民と協働する力』の試行体験】

参加者は、学校時間では体感できない地域解決課題に実践的に取り組み、住民が1人では解決できない地域解決課題や社会問題の改善活動を体験します。この活動への参加を機に、参加者が関わる地域に更なる関心を持ち、地域課題の解決意識を高揚させ、コロナ禍でも、地域要擁護者を守る活動への気づきを促す。

8、その他

1. 指導担当の皆様は、上記の通り、活動目的は、福祉活動ではなく、青少年のための体験学習活動(地域貢献体験学習活動)である点に十分ご注意ください。
2. 参加者の公募ポスターにある注意事項をご理解のうえ、当該活動の指導者にご賛同賜りますようお願い申し上げます。
3. 当該活動の様子について、SNS・HP等への無断掲載投稿は、ご遠慮ください。